

## 第2回新居浜市総合文化施設建設委員会 会議録

1. 日時	平成23年10月7日（金）13:00～15:00
2. 場所	新居浜市市民文化センター別館 1F 第6中会議室
3. 出席者	<p>委員</p> <p>美術館 松久勝利（委員長） 宇野貴美恵 合田定子 篠原雅士</p> <p>小劇場 山本光博（副委員長） 石川猛 田邊憲司 福本美喜和 好井和樹</p> <p>あかがね文化 坂上公三（副委員長） 伊藤嘉秀 井上和志 武田信之 直野由美子 渡邊哲郎</p> <p>アドバイザー</p> <p style="padding-left: 40px;">市橋宏 吉田広</p> <p>総合文化施設準備室室長 赤尾恭平 副室長 菅春二</p> <p>〃 係長 藤田英友</p> <p>〃 主事 山内貴志</p> <p>〃 池田淳子</p> <p>〃 山田慶治</p> <p>㈱日建設計 3名</p> <p>㈱トータルメディア開発研究所 3名</p> <p>新居浜市 副市長</p> <p>新居浜市役所 企画部長</p> <p>〃 建築住宅課 3名</p> <p>〃 スポーツ文化課 1名</p>
4. 欠席者	伊藤公一 安孫子尚正 藤田優
事務局	<p style="text-align: center;">～開会挨拶～</p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今から、第2回新居浜市総合文化施設建設委員会を開催いたします。</p> <p>開会にあたりまして、新居浜市長 佐々木龍がご挨拶申し上げますところ、公務により県外にご出張中でございますので、副市長が他の用務が終わり次第こちらで改めてご挨拶申し上げます。</p> <p>それでは会の進行につきまして、建設委員会の委員長である松久委員長からよろしく申し上げます。</p>

<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">～あいさつ～</p> <p>各分科会の意見交換のまとめとしての会ということで、公私ともご多忙の中、ご出席ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局より配布しております会次第に沿って進行を進めたいと思います。</p> <p>会次第の2に移りたいと思います。今回2名のアドバイザーの方にご参加を頂いております。事務局から2名のアドバイザーについてご紹介して頂きます。</p>
<p>事務局</p>	<p>企画部長の田中です。</p> <p>本日は、市橋・吉田両アドバイザーにはご多忙のところ総合文化施設建設委員会にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>それでは今日、おいで頂いておりますアドバイザーのご紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">～アドバイザー紹介～</p> <p>まず、市橋アドバイザーからご紹介させていただきます。</p> <p>市橋さんは、1943年のお生れで、早稲田大学・同大学院で応用化学をご専攻されました。ご卒業後、住友化学工業株式会社に入社され、新居浜製造所を中心にご活躍されました。2003年、住友化学愛媛工場内に完成、稼働した、カプロラクタム製造工場の建設にあたり、開発リーダーとしてご尽力されました。この工場の製造プロセスは、環境にやさしい世界初の技術として非常に評価が高いものとお伺いしております。</p> <p>また、新居浜にご在職中は、先のようなものづくりの最先端にいらっしゃった住友化学の技術者の皆様方とともに、社会貢献として、惣開・若宮・宮西・新居浜ほかの市内の小学校の化学教室でご指導いただいております。この教室では、実験や工作を通じて、子どもたちに化学のおもしろさを体験してもらうとともに、勉強に興味をもっていただくということを目的に、ボランティア活動に携わっておられます。市橋さんは、現在、滋賀県大津市にお住まいですが、大津市でも実験教室のご指導に携わっておられます。</p>

	<p>私どもといたしましては、アート工房で、子どもたちを対象にした化学教室を展開したいと考え、これまでもご説明いたしてまいりました。市橋さんには、地元企業への協力依頼などにもご尽力をいただいております。本日は、これまでの取り組みの様子や、その効果、今後の展開などについてご指導頂く予定でございます。</p> <p>続きまして、吉田アドバイザーをご紹介します。</p> <p>吉田さんは、1967 年のお生れで、四国中央市のご出身でいらっしゃいます。京都大学・同大学院で考古学をご専攻され、ご卒業後は、京都大学の助手を経て、愛媛大学でご教鞭をとられております。現在は、愛媛大学ミュージアムの准教授として、ご専門の弥生時代の青銅器のご研究はもとより、構内遺跡の調査、博物館の運営まで幅広くご活躍されておられます。</p> <p>本市におきましては、総合文化施設の建設にあたりまして、設計事業者を選定するプロポーザル審査委員会の副委員長として事業者のご審査にあたって頂くとともに、総合文化施設予定地の隣にある「駅前4号公園」の整備にあわせて、整備検討委員会に委員として正光寺山古墳の発掘調査、報告書の編集や古墳公園整備検討等の業務についてご指導を賜っております。</p> <p>総合文化施設の設計にあたりましては、プロポーザル最優秀案と設計の整合性や新居浜文化の中に展開する正光寺山古墳の紹介展示計画などに引き続きご指導を頂く予定でございます。</p> <p>本日は、プロポーザル案が基本設計案にどのように活かされているのか、また、正光寺山古墳の重要性や展示の展開などについてご指導を頂きたいと考えております。</p> <p>それでは、今後の事業計画や運営計画等の参考として少し市橋・吉田アドバイザーよりお話頂けたらと思います。まず、市橋アドバイザーお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>～アドバイザー 助言及び事例発表～</b></p> <p>ご丁寧なご紹介ありがとうございます。アドバイザーを務めさせていただきます市橋です。よろしく申し上げます。</p> <p>ミュージアムの中には、アート工房があり、そこで何かできれ</p>
委員長	
アドバイザー	

ばと思っています。

私が今までしてきたことを少しお話したいと思います。

何十年か前にゆとり教育が導入され、それから詰め込みの勉強がなくなってきました、それにより理科の授業が減り、創造性や独創性といった大事なものが子どもころにできなくなってきました。大きくなって身につくものも限られてしまいます。私は、いらないと決めつけるのではなく、まず行動してみてもいいべきだと思います。

理科の教科書を調べてみたのですが、10年前のものと20年前のものと最近のものとは、大きく違っていました。どんどん内容が優しくなっていて、先生自身も実験の経験がない人ばかりになってきていて、ゆとり教育の先生が増えてきていると感じました。自分がしたことのないことを生徒にやってあげることができないのです。なので、マニュアルに沿ってしてしまい、理科の深さが伝わらないというのが現状です。どうすれば良いのかと考えまして、経験のある人が指導しに行けば良いと思いました。今、大津市で先生と一緒に実験を行い、様々な理科の楽しみ方を週に1回教えています。

今回の文化施設には、アート工房があり、ミュージアムということで芸術が中心だと思いますが、その芸術作品がどのようにしてできたのかというプロセスや作品に使われる絵具をどのように作っているかというものの体験ができれば興味ももって芸術にも関わることができるものになると考えています。

新居浜は、世界でも有数の工業都市であり、古くからのもので、海では塩田が栄え、山では別子銅山、新しいものでは、住友化学の工場といった、古いものから近代のものまである、ものづくりの盛んな市です。立派な技術のあるものばかりで、その技術を伝えていける・残していけるようにしたいと考えています。そういった活動になるように進めていけたらと思っています。

他の活動だと、週に1回小学校に行きまして、お昼休みの時間に自由に参加できる実験を行っています。ここで簡単に実験をしたいと思っています。

～実験～

興味を持ってもらえることが大事で、大人になった時に少して

	<p>も役に立つことができればと思います。こういった活動の積み重ねだと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。 何か質問があればお願いします。</p>
	<p style="text-align: center;">～質問及び応答～</p>
<p>委員</p>	<p>現代の子どもは、科学の知識が少ないと私も感じていました。今年の特発のことも含め大事な知識だと思います。 そして、科学を通して笑顔になれるような活動が良いと思います。そういった活動をされてきていると思いますが、その中で苦労した部分があれば教えて頂きたいです。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>笑顔になるのは、自分が笑顔になることでみんなも笑顔になってくれる。笑顔のスパイラルみたいなもので、笑顔になると嬉しいです。 一番気をつけていることは、子どもに怪我をさせないようにしていることです。怪我といっても少しの怪我なら私は良いと思っています。ただ大きな事故や怪我にならないように気を配っていることが大変です。今の子どもは、マッチに火をつけることができない子どもが多くいます。何でも経験することで危険も分かるし、正しい使い方も分かると思います。こういった事が多くあるので多くの体験をできる場をと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>私どもも創作活動をしていまして、そういった経験をしているとしていないでは、全くちがったものになると思っています。何に関しても経験・体験は大事で絶対に損のないものだと思います。ぜひ、ご指導して頂きたいと思いました。</p>

委員長	<p>ご質問ありがとうございました。この後も議題があり時間も限られているので、また後ほど何かあればお願いします。</p> <p>それでは、引き続き吉田アドバイザーをお願いします。</p>
アドバイザー	<p style="text-align: center;">～アドバイザー 助言及び事例発表～</p> <p>先ほどご紹介頂きました愛媛大学の吉田と申します。よろしくお願いします。</p> <p>愛媛大学で、ミュージアムに関わってしまして地域の方々に活動を発信していく活動をしています。その関係から、今回の総合文化施設のプロポーザルや建設委員会にも参加している経緯があります。そして、私の専門分野である考古学の観点から正光寺山古墳の方にも関わっています。今回お話しさせて頂くのは2つで、会次第にもあるようにプロポーザル案についてと正光寺山古墳群発掘調査成果の展示・活用についてお話ししたいと思います。</p> <p>まず、プロポーザル案についてですが、日建設計さんやトータルメディア開発研究所さんがいるので詳しい話が聞けるかと思いますが、プロポーザルでは今回選ばれた日建設計・トータルメディアの他に4社いまして、その中で日建設計・トータルメディアがより優れていたのが選ばれたわけですが、特に駅前の立地条件にあった提案が多かったように思います。3つの分野を建物ごとに分け、どこか一方が玄関という訳ではなく、4つの方向から全て出入りできる様、上手く人と人の交流を図っていた。また詳しい話は後ほど聞けると思いますが、上手く人と人の交流を大事にした印象がありました。それを高く評価しました。他にも、私は正光寺山古墳の発掘に関わっていましたので、正光寺山古墳にも考慮した案だったので高く評価したところでもあります。これからまたより良いものにしていくためにご意見を出し合っていければと思います。簡単ではございますが、プロポーザル案については以上です。</p> <p>次に、正光寺山古墳群発掘調査成果の展示・活用についてですが、お手元に正光寺山古墳群の資料をお配りしていますが、今現在では、発掘調査も終わりきれいに整備されています。長く関わっていますが、この正光寺山古墳がある「駅前4号公園」が今回の総合文化施設と良い立地にあるので、新居浜駅を利用する方々に多くの利用と来訪者に興味を持ってもらえて新居浜市を知っ</p>

<p>委員長</p>	<p>てもらえる場になるようにと思っています。</p> <p>発掘調査というのは発掘して終わりではなく、発掘されたものを紐解いて調べることも行っています。その結果の途中経過報告がお手元にある資料になります。今その成果等を高めているところですが、こういったことを詳しく新居浜市の歴史を総合文化施設で様々な方法で展示・発表していきたいと考えています。</p> <p>文化施設と遺跡が併設していることを最大限に生かしていきけるものになりたいと思っていますので、皆様のお力添えのほどよろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>何かご質問等があればお願いします。</p> <p style="text-align: center;">～質問及び応答～</p>
<p>委員</p>	<p>古墳については詳しくは知らなかったのですが、出土したものから歴史が分かる等の素晴らしいことが良く分かりました。一般市民公募の参加で学生等が古墳の発掘に参加したと聞きましたが、そういった活動も展示や写真等を出すことによって身近に感じることができると思います。市民の参加したことの素晴らしさや新居浜市の誇りを伝えていけるようなものにしてほしいと思いました。</p> <p>そして先ほどの市橋先生のお話ですが、私も市民の方々に科学を伝える活動を新居浜西高校の科学部の生徒と協力して月に1度していますが、市民の方々も参加して頂いて楽しくできています。感想を聞いたりするのですが、「驚いた」「良い経験になった」という声多くあり、それが科学の良い所だと感じました。大人だけでなく、みんなが参加でき育成といったものだけでなく誰でも楽しめるようなものになればと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>2つのご質問が出ましたので、吉田さんと市橋さんにそれぞれお答してもらいたいと思います。</p>

アドバイザー	<p>子どもから大人までということでしたが、資料の 14 ページに体験学習を紹介しています。現地説明会を行う等、この発掘調査には中学校の先生方にも参加してもらい、中学生や様々な年代の方に発掘体験をして頂きました。考古学は私が小さい頃に経験したというのが原点なので、こういった活動を継続して行うことが大事だと考えています。発掘調査はもうできませんが、今回のミュージアムと併設していることで市民の方々が現地に足を運んで頂ければ、花見のできる公園なので、そこで体験コーナーや現地説明をして少しでも興味のでるものになりたいと考えています。</p>
アドバイザー	<p>小学校に行って小学生を対象に実験を体験してもらうことも大事ですが、今回は、アート工房がありそこで行う実験等は子どもから大人まで楽しんでもらえるようにしたいと考えています。</p> <p>アート工房で学んだことを家に持ち帰って家族や友達どうしで遊んでもらえるようなものにしたいです。このアート工房は、それができるものだと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>このお二人には、これからもお力添えをして頂くことになっていきますのでよろしくお願いします。</p> <p>今回は時間も限られていますので、ご質問もあるかと思いますが、またこの先もありますのでそこでご質問・ご意見してもらえたらと思います。</p> <p>それでは、引き続き会次第に沿って基本設計案に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本設計案に移る前に、先ほど報告していただきましたとおり副市長が参りましたので、副市長から一言ご挨拶申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">～副市長 あいさつ～</p>
副市長	<p>新居浜市長 佐々木龍がご挨拶申し上げますところ、公務により県外にご出張中でございますので、市長に変わり副市長の私が</p>



	<p>挨拶申し上げます。</p> <p>本日、委員の皆様には公私ともご多忙の中、「第2回新居浜市総合文化施設建設委員会」にご出席頂きまして、心からお礼申し上げます。</p> <p>また、今回、ご多忙にも関わらずご出席頂きました、市橋様・吉田様には、今後の館の運営計画・事業計画につきまして、助言・指導等ご協力頂けるということで、大変ありがたく存じております。</p> <p>さて、委員の皆様のご協力によりまして、総合文化施設基本設計案が完成し、それに基づく事業費も概算ではございますが積算されました。しかしながら、事業費は当初想定しておりました金額よりかなり増加しております。これまでの委員会で皆様からご意見等を頂き、完成いたしました基本設計案でございますが、市民の皆様や議会の皆様にご理解を頂くためには、今後、事業費も含め、さらに施設内容等を検討する必要があると考えております。</p> <p>このあと、基本設計案とその事業費につきまして、担当から詳細をご説明いたしますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、石川副市長につきましては、他の用務のためここで退席されます。</p> <p style="text-align: center;">～副市長 退席～</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、改めて、基本設計案について事務局からご説明いたします。</p> <p>それでは、基本設計案につきまして説明していきたいと思っております。今回は、VR・3Dの映像によります建物の概略やイメージ、その後、平面図についてプロジェクターでご覧頂きながらご説明申し上げます。</p> <p>それでは前方のスクリーンをご覧ください。</p>

	<p>～VR・平面図を使つての説明～</p>
委員長	<p>副市長の方からご説明があつたように事業費が大幅に超えていますので、これからつめていければと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明についてご意見・ご質問等ありましたらお願いします。</p>
	<p>～質問及び応答～</p>
委員	<p>建物にバリアフリーはついていますか。</p>
事務局	<p>バリアフリーは、配慮してつけていきます。エレベーターでどこにでもいけるようにしていますし、地下駐車場から館内にもバリアフリーを設けています。トイレにも専用のトイレを設置します。</p>
委員	<p>事業費がオーバーしているみたいですが、これからその予算を減らしていくということですか。</p>
委員長	<p>それが今回の会の本題でもありまして、こういったことの意見交換が重要になってくると思います。事務局の方も設計案はまだできていないので、詳しい話はまた、会があると思うのでお願いします。</p>
事務局	<p>最初の 50 億の設定が甘い部分がありまして、と申しますのもこれに伴うお金は一定の枠が決まっている合併特例債というものからでていまして、駐車場と外構だけで 10 億アップになっています。これらのことをつめていければと考えています。</p>

委員	合併特例債のことですが、50 億の中のどれくらいを返済するようになるのですが。
事務局	合併特例債は、有意なものです。借金には変わらないものです。例えば 100 万円で表すと、95 万円までが地方債でお借りできるといったものです。借りたお金の返済にあたっては、借りたお金の 70%が地方交付税で返されるようになっています。
事務局	補足になりますが、合併特例債は今回の施設だけに使えるのではなく、合併特例債の何割かを使うようになっています。合併特例債は必要な事業に対して使えるお金です。事業を推進する立場からいたしますと、事業のことも市民のニーズも考えながら進んでいかなければいけないので協議を重ねていければと考えています。
委員	市民ニーズというのは私たちも含まれていますか。
事務局	もちろんです。委員の皆様は市民の代表でございますので、考えを言って頂ければと思います。
委員長	この際ですので、何か聞きたいことがあれば言ってもらえればと思います。
副委員長	これから費用を抑えていくのにどうすれば良いかという話し合いになっていくのですか。
事務局	今後の進め方については、また事業者の説明があるので、その際にとしたいと思います。

副委員長	<p>限度額がどこまでなのか、どこまで落とせば良いのかをちゃんと出してもらわないと中々具体的な話し合いにならないと思います。事務局からある程度の要求を出してもらわないと、また同じことの繰り返しになると思います。</p> <p>作るからには利用の多い、使い易いものにしてほしいので、作っても予算の都合で不便な利用の少ないものになっては意味がないし、意見を出す委員会の意味がないと思うので考えて進めて頂きたい。</p>
事務局	<p>私どもの考えですが、一回、事務局の方で案を作りまして話し合いができればと考えています。例えば、駅前の立地で駐車場が足りないという意見が多くあり、今回の文化施設の半地下駐車場に 180 台を計画していましたが、これだけで 6 億の予算がかかっています。こういったものの半分を地上にもってきたらどう変化するだとか、設えを見直してどれだけ削減できるかといったことを、まず事務局の方にお任せ頂いて、そのできたものを建設委員会で委員の皆様と協議し、意見を頂ければと考えています。</p>
委員長	<p>様々のことが重なって予算がオーバーしているので、設えを悪くしないように専門家にお任せして建設委員会で話し合いができれば良いと思います。</p>
副委員長	<p>事務局の方が具体的な案を作ってもらわないと、我々委員が案を出していくとまた予算オーバーになりかねないので、ある程度の枠組みをして頂いて委員会で協議できれば良いと思います。</p>
事務局	<p>分かりました。</p> <p>もう一つ、会派説明を行ったところ賛否両論でして、したいことも分かるとの意見も頂きました。ただ、50 億に収めるという話ではなく、削減できる所があるのではないかというご指摘でしたので、こういった部分をクリアして賛成を頂きたいと考えています。委員の皆様のご意見をなるべく取り入れて近いものにして</p>

	<p>いき、その案を会派説明でご了承を頂けるよう頑張りたいと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>非常に大事な話ですので、もう少し委員の意見を頂けたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ランニングコストの削減という点から駐車場は有料になりますか。その時の、料金設定について事務局はどう考えていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的に駐車場を有料で利用するという考えはありません。しかし、施設を利用しない方に利用されると困りますので、そういったなかでどう市民の方々に還元できるのかという考えがあります。それと、駐車場を他に設置する考えもありますので、今は流動的な動きがありますのでまだ詳しいことは決まっていません。しかし、館をご利用の方が駐車場を利用できないようになってしまうことは困りますので一定の条件を決めていくたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>駐車場はやはり必要になってくると思いますので、半地下に設置することでの利便性はあると思います。それによって利用が増えることがあると良いと思います。利用者のことを第一優先で考えてほしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>私どもの考えも同じですので、館の設えによってある程度の台数を完備したいと思っています。イベントや行事によってご利用の時間帯も常時変化すると思いますので、様々な方向から考えていきます。</p>

委員長	<p>会議の中だけの話し合いではないので、また何かありましたら事務局の方にご連絡して頂ければと思います。</p> <p>それでは、時間も迫ってもいりましたので次の議題に移りたいと思います。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>それでは会次第にもありますように基本設計案につきまして、設計事業者でありますトータルメディア開発研究所からご説明申し上げます。よろしく申し上げます。</p>
事業者	<p style="text-align: center;">～事業計画案 説明～</p> <p>お手元に配布してあります「運営基本計画 中間報告」をご覧ください。時間も限りがありますので要点を掻い摘んで説明したいと思います。</p> <p>それでは2ページになりますが、「施設の基本目標」になります。にいはま文化・小劇場・美術館といった3つの構成から交流のできる空間・出会いの空間を目的としたものになっています。</p> <p>次に、4ページでは「事業計画」で事業の枠組みを大きく分けて5つだしています。鑑賞・発表・協働・普及・育成の5つが上手く融合できるものにしていきたいと考えています。</p> <p>5～14ページにかけて、美術館・小劇場・にいはま文化を詳しく載せています。これまでの委員会のご意見を含んだものになっていますので、これからまたご意見を頂きながら具体化していきたいと思います。時間もありませんので説明は省略させていただきます。</p> <p>続いて15ページですが、年間のスケジュール案になります。年間にある行事やイベントのピークを3つに分けて様々な事業活動を組み込んで考えたものになります。</p> <p>17ページからは、中長期計画という事で考えたものになっています。オープンして衰退していく館を見てきましたが、我々の考えはイベントや様々な活動とともに成長・発展していけるものにしたと考えています。基本的には、会館して初めは市民の方々の活動を主体に基礎体制づくりをしていき、次に市民参加・参画の拡大に取り組んでいきたいと考えています。最終的には、市民主体の企画・運営に向けた実践的な活動を促していけるよう</p>

	<p>にしたいと考えています。市民の方々と一緒になった運営をしていき、ゴールを決めるのではなく成長していけるものになればと思います。</p> <p>次に 21 ページになりますが、「市民による市民育成の視点」とありますが市民の方々に運営パートナーになって頂いて伝統や文化を残していけるように技術等の育成プログラムを作ってみました。</p> <p>最後に 1 ページになりますが、「検討事項」とありますが、これらの項目をこれからご意見等頂きながらつめていきたいと思えます。そして大事なことで、ランニングコストや運営していく中での収入を見定めていきたいと考えています。</p> <p>簡単ではございますが以上で説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>トータルメディア開発研究所からのご説明でご意見・ご質問があればお願いします。</p> <p style="text-align: center;">～質問及び応答～</p> <p>事業計画はよく分かりました。これからの話し合いでまたつめていければと思います。ただ、事業形態のことですが事業形態がしっかり決まればランニングコストも決まってくると思うのでこれをしっかりして頂きたい。</p> <p>あと分科会でもあったことですが、運営するなかで現地に足を運べるような組織を整えてほしいと思いましたので、これからの運営形態を考える中で検討して頂けたらと思います。</p> <p>ご指摘とおりでと思います。これからの運営計画のなかに組み込んでいけるようにしていきます。</p>
委員長	
委員	
事業者	

委員長	<p>19 ページで気になったところがあったのですが、育成の大事さは各分科会でも上がっていたことですので、今回あるのはプロポーザルの時と変わっていないのですか。</p>
事業者	<p>プロポーザルの時から、土台は変わっていませんが、中身は少しずつ変わってきている部分もあります。</p>
委員長	<p>人の育成には時間があることなので早めにお示しして頂きたい。トータルメディア開発研究所さんが単独でされるのか、大学等と一緒にするかといったことも決めて頂きたいと思います。</p>
事業者	<p>施設だけで育成していくというのは大変なことだと思いますので、委員長が言われたとおりの様々な機関と協力して行っていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>今事業費のことが大きな課題となっていますが、根本の事業計画もしっかりしたものにしていないと何も成り立たないので様々な事を含めて考えて頂きたいと思いました。</p>
委員	<p>分科会でも言いましたが、様々な企画展を呼んでするといったことも検討して頂いたらと思います。</p>
委員長	<p>様々な意見がでるので、また事務局の方に意見の交換ができる場を設けて頂いて大きな話し合いができると良いと思います。</p> <p>時間も参りましたので、今後の会議の進め方、スケジュール等について事務局よりお願いします。</p>



～進め方・スケジュール等 説明～	
事務局	<p>これからの会議の進め方ですが、基本設計案をどう煮詰めていくかが一点、もう一点は先ほど話された運営計画です。市民の方々がより良くご利用して頂くにはどうしていくかを考えていく事になります。</p> <p>あと、事務局の方で勝手ながら、各委員さんにこういった声掛けをしたいというものを書いたペーパーをお配りしていますのでよろしくをお願いします。</p> <p>また、書いてあること以外で何かあれば言って頂ければありがたいと考えています。</p> <p>今後ともよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>曾我部さんや鴻上尚史さん等との話し合いの場を設けて、意見を聞きたいのですが。</p>
事務局	<p>分かりました。</p> <p>予定を聞いて、そういった会を開けるようにしたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>こういった限られた時間ですので、全てを出すことはできないと思いますので、また次の会での話し合いをお願いしたいと思います。</p> <p>これで第2回建設委員会を終わりにしたいと思います。</p> <p>お忙しい中ありがとうございました。</p>